

ARCUS

Artist In Residence - IBARAKI

現在のアート・芸術文化を守谷から。

- 問合先 アーカススタジオ (もりや学びの里内)
日・月曜日休館 ☎ 46-2600 (10:00 ~ 18:00)
✉ arcus@arcus-project.com
◎ 詳細な情報はアーカスプロジェクトで検索!

過去招へいアーティストの活躍

先日都内を中心に開催された演劇のプロジェクト、シアターコモンズ'18に小泉明郎(2003年招へい)、藤井光(2005年招へい)が参加しました。

アーティスト・イン・レジデンスプログラムの公募が先日終了し、今年もさまざまな国・地域から多くの応募がありました。招へいアーティストの発表は、これから審査を経て、7月上旬を予定しています。お楽しみに!



こいずみめいろう 小泉明郎

小泉明郎は17〜24歳の若者20人とワークショップを行い、その成果を「私たちは未来の死者を弔う」と題したパフォーマンスとして発表しました。会場となったのは埼玉県朝霞市の米軍基地跡地暫定利用広場「朝霞の森」。当日は凍える雨の降りしきる中、野外で約1時間におよぶパフォーマンスが行われました。

小泉は、特攻隊など戦争のトラウマを題材として扱い、普段は人々の意識の深くに眠る暴力性を、映像を用いてあぶり出す作風で知られています。今回の作品では個人と国家という共同体の関係性や、その構造の中で演じられる英雄的な自己犠牲の身振りを演出しました。



ふじい ひかる 藤井光

一方、藤井光は昨年アテネで撮影した作品《ピレウス/ヘテロクロニア》を上映しました。アテネのピレウス港で制作された本作は、アテネの近現代史を3組の登場人物の対話という形式で描きます。そこで語られるのはアテネの労働運動や、移民と難民の受難の歴史。経済危機やシリア内戦以来現在も続くギリシヤの混迷を、アテネに住む3組が自身の個人的経験を通して、静かに淡々とカメラに向かって語ります。

小泉、藤井は共に1976年生まれ。歴史の表象や社会構造に内在する権力を批評的に探求し、現在の日本のアートシーンを牽引する存在となっています。アーカスプロジェクトでは、これからも国内外での彼らの活動を紹介していきます。

いばらき防災大学 開講

つくば会場の参加者募集

今年度の「いばらき防災大学」を、つくば市で開講します! 防災に関する幅広い分野の講義や自主防災活動に役立つ構成となっていますので、ぜひ参加してください!

修了者は防災士試験の受験資格が得られます。

- ▶ 日程 6月30日(土) 9:30 ~ 16:20
(全4日間) 7月1日(日) 9:45 ~ 16:20
7月8日(日) 9:25 ~ 16:30
7月21日(土) 9:45 ~ 14:25
- ▶ 場所 筑波学院大学(つくば市吾妻3-1)
- ▶ 募集人員 先着200人
- ▶ 受講料 無料
- ▶ 内容 自主防災活動、地震・風水害対策などに関する講義

- ▶ 申込方法 申込書(交通防災課窓口で配布/市および県ホームページからもダウンロード可)に必要事項を記入し、5月31日(木)までに、交通防災課の窓口で申し込む
- ▶ 注意事項
 - ・ 特別な資格、予備知識などは不要です。
 - ・ 講義の他、穴埋め式のレポート提出が必要です。
 - ・ 防災士になるには、普通救命講習の受講が必要です。
- ▶ 問合先 市役所交通防災課 交通・防災G 内線137
茨城県防災・危機管理課 防災担当
☎ 029-301-2885 FAX 029-301-2898
✉ bousai@pref.ibaraki.lg.jp